

『札幌地区自動車解体処理協同組合が解散』20.9.20.

昭和54年10月、札幌近郊における自動車解体事業者による親睦団体を発足、後に、札幌市などから行政等の事業を行うために、責任法人として平成3年2月移行、札幌市内における放置車輛の撤去並びにフロンガスの回収破壊等の事業など、自動車リサイクル法の施行により解決してことを踏まえ、17年の年月を経過、所期の目的を達成解散となる。同時に、一部の事業を北自協に引き継いだ。思い浮かべると、素材等の下落が長期間に及び組合員(24社)のために何をすれば良いか。共同出荷事業に取り組み、ある時は研修旅行を企画、また、フロン回収事業を行い業界の地位向上に努めた17年であった。

解散総会を定山溪のホテルで行い、活動に終止符を打った。解散総会には加盟各社代表者16人が参加。席上石上理事長は「札幌協は解散するが“廃車処理は我々の使命、”という組合のポリシーは、北海道自動車処理協同組合に引き継がれ、これからも絶えることなく生き続けるだろう」とあいさつ。出席した組合員は総会後の宴席でこれまでの歩みを振り返って懐かしんでいた。



(石上理事長を囲む理事)



(組合員に挨拶する南相談役)

札幌協は、事業の主としてきた札幌市内の放置車輛対策事業が「自り法」の施行に伴い激減と北自協との重複組合員であることも解散の切欠となった。放置車輛対策事業は北自協札幌支部が引き継ぐ。札幌協の初代理事長を務めた南可昭北自協理事長は、平成14年度の通常総会で引継ぎした石上理事長に労いの言葉と「札幌協メンバーの結束の強さや熱意は設立当初から今まで変わらず、発展的な解散と受け止めている。また、北海道の同業者に与えた組合員活動があったから現在の北自協がある。これからは新たな気持ちで北自協の活動に取り組んでもらいたい」としている。

札幌協は、前身母体であった「札幌会」会長石上満(前石上車輛社長)が会員の相互の調和を大切に、自動車解体業界の前途を真剣に考え導いてくれた。石上満氏を失い、中山社長、山本社長、森下社長などの他界で、微力ながら、私(南可昭)が11年間務め、平成14年度の総会で石上剛社長に引継ぎ円満に事業活動が行われ発展的、解散が出来たことはなによりであった。



(思いでを語り合う石上理事長)



(祝宴のメを行う伊丹会長)

『東区における長期不適正廃タイヤ撤去作業』20.9.24.



(北自協理事が作業状況を見届ける)

20年5月9日、札幌市環境局の撤去要請を受け北自協の「廃車処理は我々の使命」の一端事業活動として、(三光産業)並び(石上車輛)等の協力を頂き約2万本の廃タイヤを処理した。この度の廃タイヤの撤去作業は、札幌市東区の元運送会社社長の男性(62)が他人の土地に古タイヤ約2本を放置している問題で、札幌市は24日午前、廃棄物処理法に基づく行政代執行で古タイヤの撤去を始めた。

平成20年9月24日(水)北海道新聞(夕刊)

有価物と視聴すれば行政指導が出来ない内に廃棄物は増大する。早期発見、早期撤去の鉄即が実を結ぶことが出来ず、社会的問題となる。最後に税金等で処理が全国的に行われている。

行政代執行で始まった古タイヤの撤去作業
24日午前10時15分、札幌市東区東雁来

古タイヤ撤去
代執行始まる
札幌・東区
札幌市東区の運送会社社長の男性(62)が同

区東雁来の他人の土地に古タイヤ約二万本を放置している問題で、札幌市は二十四日午前、廃棄物処理法に基づく行政代執行で古タイヤの撤去を始めた。作業は午前九時に開始。市の委託を受けた業者が重機でタイヤをトラック七台に積んでいた。撤去は「三日かかる見込み。タイヤは苫小牧市などで処理され、燃料などに再利用する。市は近く、男性と会社に撤去費用九十五万円を請求する。市によると、男性は五年以上前からタイヤを放置。市は「やぶ蚊が大量発生し、タイヤが自然発火する可能性もある」として、二〇〇六年から行政指導を繰り返したが、男性は「タイヤは輸出する商品」として撤去を拒否。市が八月八日に出した撤去の措置命令にも従わなかった。

平成20年9月25日(木)毎日新聞



処分業者によって撤去される古タイヤ＝札幌市東区東雁来町で、西本勝撮影

放置古タイヤ
強制撤去開始
札幌市
札幌市東区東雁来町
の空き地に石狩市の運送会社「石狩運輸」が古タイヤ約2万本を放置している問題で、札幌市は24日、廃棄物処

理法に基づく強制撤去の重機で次々とトラックに着手した。同社の山ノクの荷台に積み込まれ、苫小牧市と恵庭市田良盛社長が「有価物だ」と主張し市の撤去命令に従わなかったため、撤去作業には、3日かかる見込み。市は撤去費用91万円を同社に請求する方針。古タイヤは処理業者

の重機で次々とトラックの荷台に積み込まれ、苫小牧市と恵庭市田良盛社長が「有価物だ」と主張し市の撤去命令に従わなかったため、撤去作業には、3日かかる見込み。市は撤去費用91万円を同社に請求する方針。古タイヤは処理業者

【内閣府】

『利尻町・利尻富士町を訪問』20.10.16.

平成10年5月10日～18日の8日間、北自協のスローガンである、責任ある廃車処理 垂れ幕を回収車両に掲げ(52P)10年を向かえ、稚内市で会合がある機会に前日、南理事長・石上専務が利尻町・利尻富士町を訪問した。周囲60キロの両町内に分散して置かれた廃車ガラの姿は見わたらない。

10年目に当地を訪問し、当時の原状が脳裏に浮かびました。切っ掛けは、私が当時環境生活部の小笠原部長に北海道における不適正長期車輛等について、一掃をする事業を北自協に委託できないかと働きかけた結果が利尻島における撤去事業となった。独断で北海道に働きかけ事業委託が掛けられ、理事会に報告した結果、理事から予算はあるのか。撤去台数は何台か。原状はどの様になっているのか。

理事会であらましを報告した結果、現時点では回収事業は困難との結論となった。助け船がでた。当時の佐藤専務理事が、理事長が受けたのであれば2社で行うことを提案してくれた。結果、理事から2社に任せることは出来ないとの声で、現場確認をすることで前向きに検討された。安堵(あんど)はしたが現場に行くのが不安であった。結果的には無事組合員の協力で終了した。



(利尻富士町を訪ね田村副町長と対話)



(利尻町を訪ね田嶋町長と対話)



(放置車両が捨てられていた現状)



(整地されパットゴルフ場となっている)



(穴に捨てられていた廃車ガラ)



(捨てられていた廃車ガラが回収された現状)

『NGP総会で斉藤環境大臣と名刺交換』20.10.27.



NGP総会終了後の懇親会で斉藤環境大臣と名刺交換の機会があった。北海道では風間先生とのお付き合いをしていることをゆうと、昨日、登別の市長と訪ねてきたとの話をしてくれた。また、少ない時間の折り、政府として希少金属の回収を行うために携帯電話など回収に取り組むことを紹介して頂いた。わが国は「地上資源」などとゆわれる資源の宝庫である。是非、回収に取り組んでほしいと話し掛けてくれた。

『HVバッテリーなどをテーマに講習会』20.11.7.

日本ELVリサイクル機構(JAERA、酒井清行代表)主催の「ハイブリッド車バッテリー取外し作業研修会」が7日、北海道職業能力開発協会で開催された。同機構認定のインストラクターに対する講習会で、当日は一般メンバー(組合員)の実務者を含む約70人が出席した。また自動車リサイクルシステムの誤入力防止とフロン・エアバッグ類の適正回収に関する研修も合わせて行われた。



(清水総務部長の進行でスタート)



(促進センター佐藤部長が誤入力防止について説明を行う。)



(自再協)の柴田芳徳リーダーが、回収が義務付けされているフロン類、エアバッグ類の適正業務について説明。柴田氏は「回収に携わった人が不適切な方法により、大けがをしたケースなどが報告されている。



(豊田メタルの霜鳥主事が説明する)

ハイブリット車(HV)のバッテリーの取外しについて、実技講習会を開催



「使用済自動車」の解体に際して、バッテリーを取外しする場合は、高圧電流(300V)が流れているのでゴム手袋を着用して作業を行うこと。



(取外したオレンジのフックは自分で責任を持って保管する)



(フックなどを取外した後、テープ類を張る)

環境問題は21世紀の大きな課題であることから、自動車リサイクル業者として避けることは出来ない。インストラクター制度の導入により、フロン・エアバッグ類の取扱いに更なる取組みが不可欠である。



感謝状

北海道自動車処理協同組合様

貴団体は 2008年7月に開催された北海道洞爺湖サミットに際し 北海道洞爺湖サミット道民会議の取組に御理解を賜り 多大な御支援 御協力をいただきました
よってここに深く感謝の意を表します

2008年12月10日

北海道洞爺湖サミット道民会議

会長 高橋 はるみ 

『静岡県自動車解体協同組合主催交流会』21.2.15.

静岡県自動車解体業協同組合(宮下昌之理事長)が呼びかけ「自動車解体業者地域交流会2009」が15日、静岡県静岡市のニッセイ静岡駅前ビル会議室で開かれた。鉄スクラップ価格の暴落、使用済み自動車発生量等の減少と解体業界の先行き不透明感が強まることに伴い、解体業者が自主的に交流し、情報交換を求める動きが強まっている。広い地域から参加。解体業者地域交流会には、静岡自動車解体協同組合のほかに、神奈川県自動車リサイクル事業協同組合(藤井信之理事長)、山梨県カーリサイクル協同組合(田中宝理事長)、が理事を伴い参加、また、北海道自動車処理協同組合(南可昭理事長)、茨城自動車リサイクル協同組合(川又正行理事長)、埼玉自動車解体業協同組合(榎本壙理事長)、大阪自動車産業協同組合(宮本眞希理事長)、長野県ELVリサイクル協議会(森下秀次会長)、新潟廃車処理協同組合(田村幸生専務理事)、千葉県自動車解体業協同組合(成田巖元理事長)、の各地区代表者出席した。なぜ、此度の地域交流会が開催されたのか。私の個人的意見として、組合を設立した経緯があると思う。組合は組合員のために作られた。参加組合員の諸々の諸問題に取り組むのが地域組織である。地域の総体的意見を集約して国、並び自動車関連団体等に伝達するのが、我々の参加しているELV機構ではないか。現在のELV機構の活動は事務的資金などにより、主たる事業活動が見えない。「金は力なり」とのことわざではないが、先立つ物がなければ理想は叶えられない。卵が先か、鶏が先かの水掛論議に過ぎない。金は出さないが、口を出す。ELV機構に求められているのは、半世紀に及び間静脈を担ってきた業界の存続である。ELV機構に関する不満等を踏まえ此度の交流会となった。

本来であれば、全国規模の意見交換の場を構築することが望ましい。みんなの意見が通ることは出来ないが組織の活性化につながる。批判をするために交流会が開かれたのではなく、業界のリーダーが組合員のために議論を深めることに意義がある。是非、地域団体等の意見を集約して次世代に引継ぐ勉強会を願う次第です。



(静岡県協同組合宮下理事長の開催挨拶)



(各地域の組合員等)



(神奈川県自り協同組合大橋副理事長の発表)



(外川教授の「ELVガイドライン」の作成発表)

『自動車リサイクル法公開セミナー』21.3.13.

経済産業省は13日、全国初の「自動車リサイクル法公開セミナー」を札幌で開催した。自動車リサイクルについて広く一般ユーザーの理解を深めてもらおうと企画したもの。17日に神戸でも開く。セミナーにはユーザー、リサイクル事業者など約40人が出席。2部形式で第1部は基調講演で①荒井孝経産省自動車リサイクル室長が「自り法の施行状況」、②吉岡篤史JAERAインストラクター(二協自動車商会専務)は「解体業者の取り組み」、③浅妻裕北海学園大学経済学部准教授が「環境とリサイクル」とそれぞれ各テーマを解説した。第2部はパネルディスカッション。コーディネーターに浅妻氏、パネリストは荒井氏と吉岡氏、北海道自動車処理協同組合の南可昭理事長、北海学園大4年の工藤かさねさんが務めた。南氏は中古部品について「CO2削減につながる環境に優しい商品」をアピール。ユーザー代表の工藤さんは「自動車リサイクルの理解を広めるには幼いうちからの教育が必要。小中学校の社会科見学に解体工場を採用しては」と提案した。



(荒井室長を囲みセミナーの打合せ)



(自動車リサイクル室長による担当報告)

『「自り法」による更新の申告状況』21.5.1.

北自協の組合員の多くは、本年6月までに更新の申請をしなければなりません。特に、札幌市内の事業者において市街化調整区域内で事業を行っている方には、建築物等に関する問題等が発生する傾向にあります。組合として関係部局に出来るだけの配慮をお願いするつもりです。ご心配がある方は事務局にご連絡をお願い致します。現時点では札幌市を除いて大きな問題等が発生していないように見受けられます。ここで、札幌市の更新に関する条件は当初、市街化区域で建築確認を行うことなく建屋がある場合は、更新を認めないとの説明であった。北自協は組合員のための生活を確保する事業の一環として、「自り法」による更新を側面から協力することを掲げ、札幌市環境局(許可担当部局)と話し合いを行って居ります。

総論では、市街化区域内における違法建築物等については、速やかに開発行為を建築課に申請、開発行為を行うべきとの回答であった。各論では、「自り法」に義務付けされている建屋については拡大解釈では建屋らしき物を含み「みなし許可」を廃棄物処理法の取得者に交付したと思う。此度、5年の更新時を向かえ「みなし許可」で取得している事業者は、他法を踏まえ新規申請をしなければならない。ことが考えられる。

ここで、「自り法」について、再確認をすると、「自り法」での建築物に対する概要は、(1)引き取った「使用済自動車」の保管施設には人がみだりに立ち入らない囲いが義務付けされている。(2)解体施設については、建屋内で行い、作業場以外の場所で解体行為を行う時は廃油などの地下浸透を防止するため、床面を鉄筋コンクリートで築造することが義務付けされている。問題の市街化調整区域内での建物等については、原則的に違法建築物となることから、速やかに撤去しなければならない。だが、「自り法」では既存の自動車解体業については、特例ともいわれる、開発行為を都市計画法により許可が必要とされているが、都道府県知事等により開発の許可がなされる場合がある。既存解体事業者はこの文言が適用された。まず、関係部局に申請を出し、審議の結果を踏まえ、正規の開発行為を行うことが可能となる。この様な自動車リサイクル業者に対する配慮を鑑み速やかに来る措置などが望ましい。札幌市環境部局は市街化調整区域での建屋については、改善指導命令を条件に許可申請を受け付けるのではないかと判断で了承した。当然、先に開発行為を行った事業者に対する配慮もある。

『石狩市親船町における自動車廃棄物の堆積現場』21.5.3.

去る、5月3日、ドライブ中に下記の自動車廃棄物の堆積現場を見て俄然とした。後日担当行政である石狩支庁を尋ねた。一見、鉄くずの山に見えるが近寄るとバンパーやシートなどの廃棄物である。

行政の回答では、数年前から撤去指導を行っているが一向に処理する傾向にない。其の内に所有者がとの連絡が取れない状況となった。以前に所有者に撤去を要請した際の回答は有価物であると主張する。たしかに、一部有価物である鉄クズ素材等が見受けられるが大半が廃棄物と思われる。「廃棄物の定義」の曖昧(あいまい)も原因と挙げられる。北自協が取組んできた、不適正長期体積車輛並びに廃タイヤなどの原因には行政指導の権限が通用しないことが上げられる。早期発見、早期治療の基本的システムの構築を確立しなければ解決は出来ない。



札幌市清田区のごみ回廊問題は、行政が警察当局との連携で20数年間における撤去作業が実った成果と思う。有価物の主張を覆して一例である。いつの日か廃棄物がなくなるのか。

『天売・焼尻島の長期不適正車両等の撤去要請の打診』21.5.10.

自動車リサイクル促進センターから離島における撤去支援事業について提案を受ける。全国的には無数の離島が存在している。北海道には、5島「利尻島・礼文島・奥尻島・焼尻島・天売島」自動車は今や日常生活には必要不可欠な輸送と交通の手段である。だが、自動車としての使命(目的)を果たすと廃棄処分をしなければならぬ。鉄クズ素材の価格が安定している時は自然体で流通するが、一端、価格低迷になると引き取り手がなくなる。

特に、離島は潮風にただされ自動車としての車齢は短い。中古部品の再生は難しい、付加価値がないため引き手がない。同時に処理費用が嵩み不法投棄や不法体積が社会的問題となっている。廃車にする場合車検のある内に本道に輸送しなければ通常の倍以上の処理費用がかかる。離島から本州(本道など)までの海上輸送費が負担となる。自動車リサイクル法はこの様な諸問題等を解決することを踏まえ施行された。

此度の離島対策支援は、本土との差である海上輸送費の負担を軽減し、使用済自動車(廃車)の滞留を防止することを目的とし、海上輸送にかかる費用のうち8割が補助される制度。本事業の原資となるお金は、預託されたリサイクル料金のうち、フロン類の再利用や中古自動車として輸出されリサイクル料金の返還請求がない場合等に発生したお金です。依頼を受けたが社会貢献が出来るか。もしかしたら、道内における最後の廃車処理かもしれない。問題は台数が少ない。利尻島の場合は車輛換算800台ほどがなったので産廃船(3艘)を利用して道内に運び入れた。天売島には47台、焼尻島17台、産廃船を利用するには台数が少ない。旅客フェリーを利用する場合、大型トラックの制限がある。プレスして①10台~15台積むと積載オーバーとなる。②4トン車に2台~4台を運ぶには10台以上の車輛が必要となる。車輛を多く使うと車輛代と人件費が過大となる。簡単には計算が付かない。

残念だが断言するしかないのか。組合の使命を達成できない。ジレンマだけを感じる。

海上輸送費 + 積み込み積み下ろしにかかる荷役費用の8割負担

平成21年8月12日、道庁にて、天売・焼尻島における不適正車輛等の回収について、環境生活部
リサイクル促進センター(再資源化支援部)、北自協(南理事長)の関係機関と事前検討を行った。

南理事長が8月9日、天売・焼尻航路羽幌沿海フェリー〔株〕を訪問した。前日に羽幌町環境衛生係
(0164-62-1211 内線 105)長原職員に電話連絡を沿海フェリーの担当者に事前連絡をお願い訪問した。

沿海フェリーの業務部長(浜本和孝)さんが親切な対応をして頂いた。0164-62-1774

まず、フェリーの輸送能力等を尋ねた。

1. 重量制限は、総重量が30トン(はクリア出来るが移動プレス機の経費負担と事前選別が必要となる)。また、現地での解体作業が行うことが出来るか。などの課題が生じる。
2. 高さ制限が3.7メートル以内
3. 時期的にフェリー運行に変更がある。4トン車で、数十回で運搬するには天候状況に左右されることからスケジュールが取りづらい。
4. 事前に予約が必要である。

現地から廃自動車を羽幌町に移動する手順等について検討した。

1. 北自協組合員のトラックを使用して羽幌町まで。
 2. 現地プレスしてトラックを使用して羽幌町まで。
- 現地から舳(はしけ)を利用して羽幌町まで。
1. 舳を持つ萌州建設(ほうしゅうけんせつ)担当青塚様、0164-42-2255

フェリーを使用して羽幌町までの

1. 4トン車(ユニック車)を利用した場合には2台が限度ではないか。
2. 11トン車を利用する場合には4台～6台が限度ではないか。
3. フェリーを使用した場合輸送する車両が多く使われるため経費が嵩む。

はしけを使用した場合の輸送費は、約100万円。(50トンクレンを含む)

はしけの面積は、長さ30メートル 幅14メートル

輸送時期は来年5月ころが条件的には可能である。9月～10月ころで実施したい。


撤去作業における確認事項

1. 放置車両等の扱い。
2. 「自り法」による扱いとなるのか。預託金の件。
3. 廃棄物処理法を適用するのか。

なお、当事業について問題点が浮き彫りとなった。肝心の羽幌町の出方である。2年ほど前に町議会
から、観光地である利尻島における長期不適正車輛等の撤去を行った事業について、当天売島・焼尻島も
観光地であることから撤去支援の要請があった。その後、リサイクル促進センター前向きに検討を行うこと
で進めてきたが、金銭的問題もあり話が途切れていた。金銭問題を後にして羽幌町が行う事項について協
力が出来るかが焦点となる。

1. 所有者が撤去作業に協力をするのか。原則的に「預託金」の離島対策支援を活用するためリサイクル
券が必要となる。所有者が預託金を負担するのか。
2. 所有者が車輛等の処理に賛同するのか。の確認を得た上で、北自協から「北海道リサイクル推進協議
会」の開催を要請。

北自協としてのスローガンである、「廃車処理は我々の使命」を掲げ、全道一円の長期不適正車
輛等の撤去を行ってきた観点から是非回収事業を行いたい。

天売・焼尻の長期放置車輛の現地写真は次ページ



焼尻島における放置車輦を写真で紹介







『JHR佐藤理事長が「レッカー業」を産業分類業種に』21.5.26.

全日本高速道路レックカー事業協同組合（JHR）の佐藤正良理事長が総務省の石崎岳副大臣と面談し、レッカー業の日本標準産業分類における業種指定を求めた。

JHR佐藤理事長が総務省の石崎副大臣と面談



石崎副大臣(右)と握手を交わす佐藤理事長

レックカー業は、クルマ社会に欠かせない存在でありながら、産業分類上の業種に指定されておらず、国の補助金などで対象外となる追加指定された。

「好感触得た」

業サービスに分類されたいその他の事

ケースも多い。佐藤理事長は産業としてのレックカー事業の概況を石崎副大臣に説明し、「業種指定に好感触を得た」という。総務省が行う産業分類の改訂は5年に1度で、今回は2012年となる。

一方、今回の陳情を機に、中小企業庁の緊急保証制度では、特定業種の「他に分類されたいその他の事業サービス」が今月23日から追加指定された。

産業分類業種に「レッカー業」を

北自協の副理事長を務める佐藤正良社長が、総務省を訪ねレックカー業の日本産業分類業種指定を求めて、地元選出の石崎岳総務副大臣に要望書を提出した。我々が所属する業界は自動車中古部品卸販売業として「平成14年1月」に指定を受けた。私が個人的に総務庁を訊ねたのはS59年7月、その後、経産省自動車課が取上げ、平成14年度の更新時に業種指定を受けた。法的施行前には自動車解体業者は全国で6千社があり、自動車産業界の静脈を担ってきた。一方、レッカー本業は500社ほどではないかと推定される状況で指定を受けることは画期できである。12年度改訂に登録されることを願う。

『社団法人日本鉄リサイクル工業会北海道支部定期総会』21.5.20.



(基調講演と意見交換を致す、中社会長)



(祝杯の発声を行う、南理事長)

例年、鉄リサイクル工業会北海道支部の定時大会に北自協理事長としてご案内を頂き懇親会等での祝杯のご指名を頂いて居ります。総会終了後の組合員との意見交換会には、前代の会長並び現職会長等から貴重なご意見を聞くことが出来大変参考になります。

- 「エコカー」って限りある地球の資源を大切にしていこうというのが、「エコ」の精神だが、石油を浪費し、CO2(二酸化炭素)やNOx(窒素酸化物)を排出する自動車は、エコと正反対の存在だ。2006年度のある調査によれば、私たちが排出するCO2のうち全体の4分の1が自動車の排気ガスとも言われている。そこで、環境にやさしく、クリーンな自動車を作るために、石油燃料以外の資源で車を動かす技術が開発されるようになった。このように、脱石油燃料を目指したのがエコカーで、エンジンとモーターを搭載した「ハイブリットカー」、家庭用電源で充電できる「プラグインハイブリットカー」モーターで走る「燃料電池車」などがある。

『平成21年度北海道自動車処理協同組合総会』21.6.5.

21年6月6日、当センターで北自協の総会が開催され、1年を向かえ、昨年の7月にはリサイクル業者として未曾有の体験をした。トン6万5千円、本来では素材等の価格の高騰を願う半面、使用済自動車の価値観が急激に高騰し、いわゆる投機マネーの投資しとなった。資金力の乏しい事業者は競争原理に勝てず極端な廃自動車の仕入れが減少した。269ページ(鉄スクラップ市況推移表)で分かる様に11月には1万円ほどとなった。5月には2万ほどとなったが、素材等の高騰は業界として喜んではいけない。廃自動車に類似する車両等がオークション市場に流れ、大手のリサイクル業者や外人バイヤー等に流れた。更に、小規模事業者は在庫減となった。

本年は役員改選を伴い、組合員のための組合事業に更なる事業計画を実りある21年度にすることを満場一致で決議した。なお、再選された理事等については、日刊自動車新聞・陸運情報社等で報告させていただきます。



(理事会風景)



(総会風景)



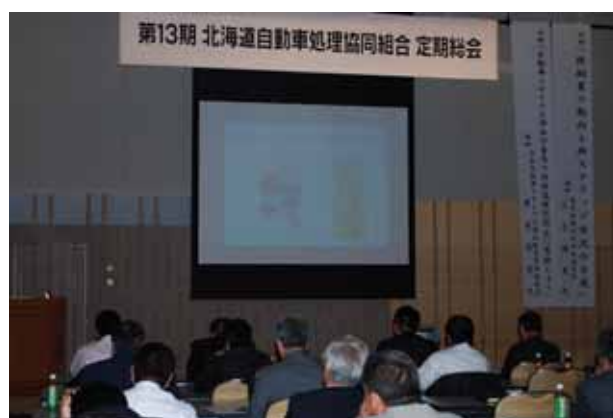
(南理事長挨拶)



(基調講演会)



(日本自動車リサイクル部品販売団体協議会、会長代行 清水信夫氏の基調講演)





(日刊市況通信社 三上慎史氏の講演)



(懇親会における南理事長の挨拶)



(吉川 清盛 経済産業副大臣の挨拶)



(石崎 岳 総務副大臣の挨拶)



(真藤 邦雄 北海道環境生活部次長の挨拶)



(柿本 純 自販連札幌支部長の挨拶)



(渡部 和正 日本鉄リサイクル工業会事務局長 乾杯)



(石崎 岳 総務副大臣と対話)

21年度 北海道自動車処理協同組合

総会・講演・懇親会 式次第



と き : 平成21年6月5日(金曜日)
と ころ : 札幌コンベンションセンター

北海道自動車処理協同組合

平成21年度 通常総会次第

と き：平成21年6月5日 12時00より

ところ：札幌コンベンションセンター

総会進行 専務理事 石上 剛

1. 開 会
2. 理事長挨拶
3. 総会成立報告
4. 議長選出
5. 議 案
 - 第1号議案 平成20年度事業活動報告について
 - 第2号議案 平成20年度貸借対照表並び財産目録
及び収支決算報告
 - 第3号議案 平成20年度収支決算監査報告
 - 第4号議案 平成21年度事業活動計画(案)
 - 第5号議案 平成21年度収支予算(案)
6. 役員改選
7. そ の 他
8. 議長退任
9. 閉会宣言

基調講演会

1. 基調講演開催挨拶

副理事長 伊丹 伊平

演 題

a. 『自動車リサイクル法改正案について』

14:30~15:00

有限責任中間法人日本ELVリサイクル機構

事務局長 多田 熱様

戦後におけるわが国の復興は自動車産業にあると思います。自動車が大衆に広く普及し必需品になりました。加えて、道路特定財源制度等を使った高速道路の拡張や舗装道路の整備により、モータリゼーションが進みました。自動車の普及は都市部だけでなく地方の生活も変化、流通コストが大幅に変動することで、産業形態も大きな変化を見せる他、人口の流通・流出も加速し、更には自動車産業の発達に伴う景気の上昇といった経済上の変化も発生させた。一方、負の問題も発生致しました。廃車ガラの処理に伴う「破碎クズ(シュレッダーダスト)」の不法投棄による環境汚染問題(香川県豊島)、フロン類による環境汚染(地球温暖化)エアバッグ類の有害物質など緊急の対策が必要となったことを踏まえ、平成17年1月1日に『使用済自動車の再資源化等に関する法律』いわゆる「自動車リサイクル法」が施行。本年が施行から5年を迎えるに当たり改正案が産業構造審議会において検討されている。

b. 『自動車リサイクル部品の普及で地球温暖化防止に貢献』

15:00~16:00

日本自動車リサイクル部品販売団体協議会

会長代行 清水 信夫様

「使用済自動車」のリサイクル率は通常70~75パーセントですが、わが国は京都議定書等を踏まえリサイクル率の目標を2002年以降は85%以上、2015年以降は95%以上を目標としている。現時点でのリサイクル率は自動車リサイクル法の施行等を踏まえ目標年度には達成することは確実と思われる。自動車リサイクルパーツの啓蒙活動は、単に中古部品を使う趣旨ではなく、中古部品の使用目的を鮮明にすることによって更なる再資源化事業を一般社会に認識して頂く事を目的にしている。自動車部品は色々な素材等により構成されて居ります。資源の乏しいわが国において、資源の有効活用は欠かすことの出来ない取り組みです。世界的に日本は、「資源山脈」「資源鉱山」「都市鉱山」とゆわれて居ります。特に、家電や携帯電話等に使われている希少金属(レアメタル)は世界の上位を占める量があるとゆわれて居ります。自動車部品においても多くの(レアメタル)が使用されており、自動車の外装部品には再利用が可能である中古部品があります。エンジン並びドア類を製造するには熱エネルギーを多く利用しなければなりません。熱を発生することはCO2の発生に繋がる問題であることから、再使用(リユース)が問われて居ります。業界上げて環境問題等に取り組みます。

c. 『鉄鋼業の動向と鉄スクラップ市況の今後』

16:15~17:15

株式会社日刊市況通信社

編集者 三上 慎史様

自動車リサイクル業者の使命は、「使用済自動車」の解体作業において、如何に再資源化事業に取り組むかが求められて居ります。精緻な解体より資源の確保と流通機関の確保が問われて居ります。昨年6月頃には素材業界が経験をしたことのない高騰を向かえ、小規模事業者は「使用済自動車」の仕入れに苦戦を致しました。わが国において、「鉄は国家なり」と言う時代を経過昨今では国内では過剰気味となって居ります。内需社会から外需社会に移行することによって新興国や資源国に輸出に頼るわが国は、此度の世界的不況を全面的に受ける事となりました。従来の個々での出荷している素材を集团的に扱うことが求められて居ります。「資源鉱山」を如何に効率的に採掘がリサイクル団体の使命と思います。

第13回 北海道自動車処理協同組合総会

懇親会

* * * 次 第 * * *

1. 開 会 司 会 副理事長 佐藤 正良
2. 理事長挨拶 南 可 昭
3. 来賓紹介 常務理事 佐々木 力
4. 来賓挨拶
経済産業副大臣 吉川 貴盛 様
総務副大臣 石 崎 岳 様
北海道環境生活部環境局次長 真藤 邦雄 様
日本自動車販売協会札幌支部長 柿 本 純 様
5. 祝電披露
6. 祝 杯 日本鉄リサイクル工業会北海道支部事務局長 渡部 和正 様
7. 祝 宴
8. 乾 杯 株式会社エス・エス・ジー代表取締役 浜田 泰臣 様
9. 閉会挨拶 専務理事 石 上 剛

日 時 : 平成21年6月5日(金曜日)

場 所 : 札幌コンベンションセンター

北海道自動車処理協同組合

北海道自動車処理協同組合懇親会・ご来賓名簿

官庁名・会社名	役 職 名	御 氏 名
経済産業省	経済産業副大臣	吉川 貴盛 様
総務省	総務副大臣	石 崎 岳 様
経済産業省北海道経済産業局資源エネルギー環境部	次長 環境・リサイクル課長 環境・リサイクル課長補佐	守島 郁生 様 渡辺 敏彦 様 太田 五子賀 様
北海道	環境生活部環境局次長 " 循環型社会推進課主任	真藤 邦雄 様 岡田 朋子 様
〔社〕日本自動車販売協会連合会	札幌支部長	柿 本 純 様
札幌中古自動車販売協会	会 長	問谷 功三 様
〔社〕札幌地方自動車整備振興会	常務理事	根本 輝治 様
札幌オートオークション株式会社	代表取締役	土 田 宏 様
北海道中小企業団体中央会	労働チーフリーダー	柴田 典雅 様
北海道二輪車商業協同組合	理事長	大村 直幸 様
〔社〕日本鉄リサイクル工業会	北海道支部事務局長	渡部 和正 様
株式会社 テクノ	取締役会長	青柳 正男 様
日本ELVリサイクル機構	事務局長	多 田 熱 様
日本自動車リサイクル部品販売団体協議会	会長代行	清水 信夫 様
NGP日本自動車リサイクル事業協同組合	理事長 専務理事	大橋 岳彦 様 宮地 康弘 様
エス・エス・ジー株式会社	代表取締役 事務局長	浜田 泰臣 様 長谷川 清二 様
〔財〕中小企業災害補償共済福祉財団	北海道支社長 業務課	島野 明夫 様 藤林 一弥 様
株式会社 新生ゴム	専務取締役	新田 艶子 様
丸吉金属 株式会社	営業課長	真 田 彰 様
株式会社 日刊市況通信社	編集記者	三上 慎史 様

南可昭理事長が留任

記念講演に来賓など80人

北 自 協



北海道自動車処理協同組合は「第13期通常総会」を札幌コンベンションセンターで開催し、写真。任期満了に伴う役員改選で南可昭理事長が留任した。また総会后、日本自動車

車リサイクル部品販売団体協議会（JAPRA）の清水信夫会長代行が講演を行った。南理事長は「前身の協会発足から15年間、自動車リサイクル法施行を境に事業環境が大きく変化し、設備の強化による台数志向や投資の重荷など課題はあるものの、全国に恥じない団体としてがんばりたい」とあいさつ。

承認した今年度の事業計画は①自り法の許可更新支援②インストラクター育成③放置車撤去の全道展開など。①については、札幌市が市街化調整区域に施設のある事業者

の許可更新に難色を示している問題に組合員から質問があり、加盟事業者の継続的な事業運営に向けて組合として対応することを確認した。

役員改選で執行部が全員留任。また組織変更で札幌支部と室蘭支部を統合分割し、新たに札幌東、札幌西、室蘭（室蘭、北広島、恵庭、千歳）、空知の4支部に再構築。支部長人事では鶴岡敏雄

がそれぞれ就任。総会後に行なった記念講演には来賓や組合員など約80人が参加。講師の清水JAPRA会長代行は「リサイクル部品の活用による環境負荷低減効果について」と題し、リサイクル部品市場の将来性やクリーンポイントシステムなどを説明。清水氏は「リサイクル部品のCO₂削減につながる今が旬の商品。市場はまだま

だ広がる」と強調していた。懇親会には吉川貴盛経済産業副大臣も出席。吉川副大臣は「関係業界の努力によって自動車のリサイクル率は目標達成し、不法投棄も激減した。今後も自動車リサイクル事業者の模範となる活動を期待している」とあいさつした。

中古パーツ普及に好機

清水会長代行 北自協総会で講演
新グリーンP Sの活用を

昨年、洞爺湖サミットの開催を前に、北海道自動車処理協同組合（北自協、南可昭理事長）と日本ELVリサイクル機構（酒井清行理事長）が共催した「自動車リサイクル・環境フォーラム」で話題を集めた分科会の一つが「グリーンポイントシステム（GPS）」だった。



新グリーンポイントシステム活用を呼びかける清水GPC会長代行

同システムは、日本自動車リサイクル部品販売団体協議会（北口賢二会長、加藤十二団）と早稲田大学環境総合研究センター（永田勝也センター長）が共同で開発した手法。北自協総会後の講

演会で「グリーンポイントクラブ（GPC）」の清水信夫会長代行は、一段と進化した新しいGPS活用の効果を紹介し、「自動車リサイクル部品の普及で地球温暖化防止に貢献しよう」と訴えた。

同氏は、中古車の部品交換に新品を使う日本の常識は、世界の非常識と切り出し、「政府の新車購入補助制度やエコ減税の導入で増えることが見込まれる中古車の輸出に歯止めをかけ、部品の確保、利用拡大へのチャンスととらえるべきだ」と強調。今月から運用を

開始した「ニュー・グリーンポイントシステム」の概要を紹介した。このシステムは○五年から始めたシステムに○削減数値を算出するデータベースを追加したもの。GPCに加盟するリサイクル部品販売事業者が、販売する中古部品とリビルド部品について、データベースから部品の種類に応じたCO₂削減数値を算出する。算出方法の基礎データは、JAPRAの部品データベースと早稲田大学のCO₂データベースを使用する。国産車、輸入車、商用車の一万余七

一年を経て、自動車リサイクル事業を取り巻く環境は一変したが、リサイクル部品利用のCO₂削減効果に関する見えて

化”手法が格段に進歩し、国民のリサイクル部品に関心はさらに高まっている。

同氏は、中古車の部品交換に新品を使う日本の常識は、世界の非常識と切り出し、「政府の新車購入補助制度やエコ減税の導入で増えることが見込まれる中古車の輸出に歯止めをかけ、部品の確保、利用拡大へのチャンスととらえるべきだ」と強調。今月から運用を

百三十四件の車両型式に対応しており、新車の販売にあわせて随時更新できる。販売事業者は、新たに顧客ごとに毎月のリサイクル部品の販売状況に応じて「CO₂削減レポート」として発送が可能となる。

『有限責任中間法人日本ELVリサイクル機構社員総会』21.6.12.

日本ELVリサイクル機構が6月12日、東京・品川プリンスホテルメインタワーで、平成21年度定期社員(51)総会並び全体集会を開催した。社員をはじめ会員、来賓など150名が出席して予定行事を滞りなく行われた。社員総会の冒頭、酒井清行代表理事は「日本ELVリサイクル機構(17年4月設立)」となって4年、任意団体(12年6月設立)時代を含むと9年が経過し、10年目の節目を向かえ「自り法」の見直し論議などを踏まえ、大きな改革へと一段と全国自動車リサイクル業界団体としての責任ある組織活動が求められている。と力強い挨拶で行事の開催を宣言した。なお、ELVリサイクル機構は昨年6月、北海道において全国初の「自動車リサイクル環境フォーラム in 北海道」を北自協(北海道ブロック)との主催で盛大に開催された。今後もELVリサイクル機構は自動車リサイクル産業の中核を担うには多くの参加会員の協力が不可欠である。政府が取り組む環境対策の一端として導入した「スクラップ・インセンディブ」などにより、2020年には新車販売の50%を目指している。更なる、ハイブリット車(HV)・電気自動車(EV)などのエコ・カーが普及すると思う。

ELVリサイクル機構が3年前から取り組んでいる、「インストラクター制度」の取り組みを強化し、更に、エコ・カー等のリサイクル率の向上に貢献したい。引き続き平成20年度事業報告で会社法施行に伴い、有限責任中間法人から一般社団法人への名称変更と、平成21年度事業計画議案審議が行われ、満場一致で可決した。

全体集会を30分ほどで終了、引き続き記念講演を中小企業基盤整備機構の西澤民夫プロジェクトマネージャーが記念講演「成功する新規事業の立ち上げ方」について行われた。



(寺谷副代表理事による開会挨拶)



(酒井代表理事の挨拶)



(理事会風景)



(南理事長から昨年、北海道で開催した環境フォーラムに関する協力にお礼の挨拶をする)

なお、ELVリサイクル機構の総会は社員総会を導入していることから、地域団体から一名が参加、各一個の決議権で行う。よって、一般会員は発言権はない。当然、社員総会の決議権が有効となるため全体集会で報告される内容については従わなければならない。全国から全体集会に出席して発言の機会がないことから、一般会員からの質問を受ける時間を設けていない。一般会員の出席者は逼迫しているリサイクル業界の成り行き

等を年一度の機会に情報交換を期待して参加するが結果的には講演並び懇親会等に参加して終了した。

なぜか、講演終了後に、一般会員からの意見などを聞き入れるため、30分ほど取り質疑を行った。だが、時間的余裕がなく不満の声が聞かれた。自動車リサイクル法の改正(案)並び6月末までに許可更新を迎える事業者、更に「スクラップ・インセンティブ」など取り組み課題について、我々業界の直接的議題について全体集会で関係官庁などと意見交換が必要であったのではないかとこのこえが聞かれた。

特に、北自協の南理事長から、昨年、北海道で開かれた総会において、4人の副代表理事が1名となり、代表理事の責務の代行ができるのか。首都圏から1名以上の副代表を入れなければ、緊急時に誰が出席するのか。などの意見があった。時間的制約から数名の質問で閉めたが、出席した会員から責任説明に欠けているのではないかと。質疑応答を積極的に行うことで、組織の充実と将来展望が開けると思う。我々リサイクル業界は異業種など参入により、従来の自動車解体業を行うことが出来ない状況下にある。全国組織が2度3度作られたが、短命で解散している。当時、将来を見込んだリーダーがいなかったのか。リサイクル部品販売を軸としている団体は近年統一活動が見られるが、本格的共同運営が築き上げられていない様に感じる。ELVリサイクル機構は、自動車リサイクル業に従事している業者の全国団体であることから、幅広い活動が望まれる。

自動車リサイクル法の施行により、自動車リサイクル業者の線引きが益々問われる。過去を振り向いても時は戻らないが、やれることはやらなければ参加会員の存続は出来ない。経済産業省自動車課はELVリサイクル機構が全国団体として位置づけしている。此度の有限法人から一般法人に移行したことを期に、充実した定款改正を行い、一般法人日本ELVリサイクル機構として再出発を行うべきではないか。此度の総会の不手際を今後の課題として、執行部一丸となって一日も早い組織の立直りを図ることを望む。出遅れは許せない。

平成21年度定期社員総会並び全体集会、記念講演・懇親会等 式次第

品川プリンスホテル[新館]34階 釧路

13:00～14:00

- | | |
|--------------|--|
| 1. 開会挨拶 | 寺谷 副代表理事 |
| 2. 資料確認 | 木内 総務部長 |
| 3. 代表取締役理事挨拶 | 酒井 代表理事 |
| 4. 議案審議 | |
| 1号議案 | |
| 2号議案 | |
| 3号議案 | |
| その他 | |
| 5. 閉会挨拶 | 伊丹ブロック会議長 |
| 6. 全体集会 | |
| 代表理事挨拶 | 酒井 代表理事 |
| 7. 記念講演 | 演題 「成功する新規事業の立ち上げ方」 |
| 8. 懇親会 | |
| 来賓挨拶 | 経済産業省 製造産業局 自動車課リサイクル室長 荒井 孝 様
環境省 廃棄物・リサイクル対策部 自動車リサイクル対策室長代理
杉本 留蔵 様 |
| 乾 杯 | 財団法人 自動車リサイクル促進センター 専務理事 大木 宏高 様 |

平成21年6月24日(水) 日刊自動車新聞

「さっぽろ環境賞」受賞の石上車輻



石上 剛社長に聞く

札幌市が今年度新設した「さっぽろ環境賞」を受賞した。石上社長に今後、石上車輻（石上剛社長）の取り組みなどをインタビュー

「受賞の感想から」「第一回の受賞という事で特に責任の重さを感じる。今後、この賞が毎年行われていく

「自動車リサイクルの森」高評価

CO₂対策 意識啓発できた

ように、当社も環境保全に向けたさまざまな取り組みを継続していくと宣言したことに等しい」

「使用済み車の適正処理やリサイクル部品販売に加え、二酸化炭素（CO₂）対策のカーボンオフセット活動、自動車リサイクルの森が、高く評価された

「昨年11月、美幌町にカラマツ1千本を植林し、自動車リサイクルの森が誕生した。個人ユーザーからの廃車依頼1台につき1本の木を植えるプロジェクト。お客さまには

「事業環境は一段と厳しくなってきたが、自分のクルマが木になるという分かりやすさもあり、お客さまからCO₂対策が身近な問題に感じられるようになったと好評を得ている。美幌町の用意した土地は最大1万2千本が植林可能で、今後20年間管理される。お客さまの期待にこたえる意味でも、できる限り続けていく」

初のさっぽろ環境賞受賞おめでとう御座います。業界の一員として心よりお祝い申し上げます。環境問題は二十一世紀の重要課題です。特に、地球温暖化は確実に進んで居ります。私たちの住む、札幌の積雪は平年並みですが雪解けの速さは極端に早く感じます。

例年の雪祭りの雪像作りに元来であればごく身近なところから集めていましたが、近年では遠くから集めなければなりません。石上社長の樹木を育てる取り組みは長い年月を行うことが求

められますが、最後までまっとうして下さい。意気込みが当社の繁栄に貢献することと思えます。貴殿は、札幌地区における自動車解体業界の先覚者であった、先代満社長様の後を継ぎ現在の石上車輻を築き上げました。ご苦労と努力の賜物です。今後とも業界のためにご尽力をなされますようお願い致します。

北海道自動車処理協同組合
理事長 南 可昭

主要メーカーの電化技術とその種類

トヨタ	「HV」「PHV」「EV」「FCV」	世界のメーカーでは、車の電化が進んでいる。
ホンダ	「HV」「FCV」	ガソリンエンジン車が姿を消す日もそう遠くないだろう。
日産	「EV」「HV」「FCV」	
三菱	「EV」「FCV」	
マツダ	「HV」	
スバル	「EV」	
スズキ	「FCV」	

『有限会社丸一田中商会在「自り法」の更新に備えて開発行為』21.6.26.

〔有〕丸一田中商会在、本年6月に更新時を迎えるにあたり清田区真栄の第二工場の開発行為を行った。本社が清田区北野にあるが隣接に住宅等があることから、第二工場地を10年前から取得していたが土地の用途が市街化調整区域で建物等が原則的に建てられないことから、更新時を機会に開発行為を行った。



土地の坪面積は4800坪の敷地に建坪100坪の鉄筋の建屋が25日、建築確認が下りた。田中陽一社長によると、姉齒問題が発生したこともあり、建築条件が強化されパイルなどの経費が想像以上に加算だ。本来であれば続けてもう一棟建てる予定であったが、リサイクル業界の現状を見つめると、少し時間を経過し、先行きを確認しながら検討する考えだ。

『北自協札幌東支部が21年度の支部会議を開催』21.7.4.

去る、4日北自協札幌東支部長(〔株〕青木商会高森翼取締役専務)が21年度初の支部会議を札幌市内の居酒屋で開催した。20年度まで札幌支部会議(47社)で行っていたが、範囲が広いと出席率が低く、札幌東支部・札幌西支部・空知支部・室蘭支部(室蘭管内6社と北広島、千歳を合体)4支部体制に移行した。東支部長の挨拶で、高森東支部長は初の支部長を経験することに成りましたので皆様方のご協力を頂き2年間を務めますとの挨拶で議案に入った。まず、執行部から南理事長、佐藤副理事長、田中常務が出席し、南理事長が近況報告(ELVリサイクル機構)の21年度の総会報告並びに許可更新について説明がなされた。また、将来的にハイブリット車の普及が見込まれることから、8日の執行部会議で討議される「低圧電気取扱業務」特別教育の企画について報告があった。また、6月末で締め切った自動車リサイクル法に関する更新について出席者の状況確認が行われ、該当する事業者については無



(北自協札幌東支部勉強会)

事終了したことを確認した。当日の出席者は13社中4社が欠席をした。冷たいビールを飲みながら現在の厳しい状況や今後の東支部の活動について忌憚のない意見交換を行った。本日の収穫は、30年以上リサイクル業を行っている事業所が増えていることを踏まえ、次世代による意見交換会が必要ではないか、との声が上がった。出来れば、月一回程度で行いとの声で前向きに検討することで、話題が進んだ。また、フロンガス回収機の故障が頻繁に発生するとの意見で原因の解明等について、田中常務から、フロンガスの漏れを予め確認するために、「r134a蛍光剤」が原因ではないかとの意見が出

された。ここで、「r134a蛍光剤」とはどのような液体かをインターネットで調べました。

冷媒サイクルに注入した蛍光剤は、冷媒ガスに混ざるのはなく、冷媒機油デアルコンプレッサーオイルに混合します。常にA/Cのサイクル内を微小のミストとなり、冷媒ガスと一緒に循環しているので、もしリーク箇所があれば冷媒ガスと一緒に蛍光剤が露出して漏れを感知させる液体である。が固まる物質であることからフロンガス類の回収時において回収機器内のポンプ類の破損となる。出来れば、オイルセパレータを回収車輛等の間につけることが望まれました。機器は約3万円前後である。

『北海道道民会議が道庁ロビーで環境行動展を開催』21.7.6・7.

北海道道民会議は、平成10年9月5日に発足、概要は本誌70ページに記載されている目的を踏まえ、廃棄物の抑制と地球温暖化などの防止が大きな趣旨です。発足から11年を向かえ環境問題等に更なる取り組みを行う一環として道庁一階のロビーで「Let's環境行動展」を行った。北自協は発足時から参加(68団体)平成16年度から企画委員(16名)を務め環境問題等に取り組んでいる。なお、企画委員会は今4回行われ現在まで44回を向かえている。なお、昨年7月7～9日、8年に一回の持ち回りのG8主要国国際行事(北海道洞爺湖サミット2008)が開催された。北海道として地元で記念すべき環境サミットが行われたことを記念して、サミットパネル写真が展示された。企画委員として、日本自動車リサイクル部品販売団体協議会の承認を頂き、当社(株)南商会が取り組んでいる「環境リサイクル部品別CO2削減効果率」の数字表を展示しました。例年10月実施している「リデュース・リユース・リサイクルの3R推進月間」利用させて頂きたい。



次世代のためにできること リサイクル部品使用でCO2を削減しよう

CO2削減効果率

普通部品	CO2排出量 100kg
リサイクル部品	CO2排出量 2.5kg

エコユージャーの皆さんへ

リサイクル部品は、なぜ「環境にやさしい」のか。それは、使用済み車の部品の「再利用」だからです。新品部品を作るには、原料調達から製品化まで多くのエネルギーを必要としCO2もたくさん排出します。それだけエネルギーを使った部品を原料に戻してしまうのは、「エネルギーの無駄遣い」になります。リサイクル部品として「再利用」し、機能を生かして使うことが、環境にもCO2削減にも貢献します。

自動車リサイクル部品の供給で地球温暖化防止に貢献する

CO2 Green Point Club

日本自動車リサイクル部品販売団体協議会
http://www.japra.gr.jp

次世代のためにできること リサイクル部品使用でCO2を削減しよう

知っているようで意外と知らない リサイクル部品別のCO2削減効果

Doorpanel	フロントドア	リユース量 99.6kg	リユース率 99.6%	UCS+量 67.8kg	Muffler	マフラー	リユース量 54.0kg	リユース率 54.0%	UCS+量 37.8kg
Turbo Charger	ターボチャージャー	リユース量 21.9kg	リユース率 21.9%	UCS+量 19.3kg	Radiator	ラジエーター	リユース量 58.0kg	リユース率 58.0%	UCS+量 41.3kg
Bumper	バンパー	リユース量 24.1kg	リユース率 24.1%	UCS+量 19.9kg	Suspension	サスペンション	リユース量 47.6kg	リユース率 47.6%	UCS+量 33.3kg
Engine	エンジン	リユース量 201.0kg	リユース率 201.0%	UCS+量 183.7kg	Automatic Trans Mission	オートマチックトランスミッション	リユース量 179.0kg	リユース率 179.0%	UCS+量 129.3kg

自動車リサイクル部品の供給で地球温暖化防止に貢献する

CO2 Green Point Club

日本自動車リサイクル部品販売団体協議会
http://www.japra.gr.jp

『SAP北海道ブロックがエコカー等の取扱いに関する講習会』21.7.11.

世界的経済不況の回復手段の一環として、自動車産業に大きな期待を踏まえエコカー等の生産に世界的取組みが順調に進められている。エコカーの普及は単に経済原動力のみならず環境対策に過大な貢献をすることと思う。政府は本年4月から新車買い替え補助金制度「スクラップ・インセンティブ」を導入した。更に、家電等についても「エコポイント」制度を導入した。なお、新車買い替え補助金制度については、別途補足する。

我々業界において、エコカー車(ハイブリッド車(HV))の普及に伴い対応が急務である。現時点でのエコカー車の保有は数%と思われるが、急激に発展を視野に事前的予備知識が必要となっている。人気のハイブリッド車は300ボルト以上の電流があるといわれている。現在の自動車は12V・24Vの電流から数十倍の電力となる。

自動車リサイクル業がバッテリーの扱いについて先般、労働基準局に尋ねた際、労働衛生法第59条同法衛生規則36条第4号の法的強制力はないとの回答であったが、下記の特別教育を主催した担当官に尋ねた処、必要であるとのことである。私として一部の講習内容を見るに、安全・安心作業の観点から教育を受けることが望ましいと思う。この様ことを踏まえ、各団体等が自主的に勉強会を行っている。北自協の組合員にはELVリサイクル機構がインストラクター制度の事業として8月7日に再度インストラクター士の講習会を行うことになっているが、当講習会はフロンガスなどを含む講習で、専任講習でないことから特別教育の場を検討する。なお、北自協の組合員には、部品団体等に加盟していない事業者が多くいることから、予備知識として「低圧電気取扱業務」に関する特別教育を企画している。

この度、[株]SAPグループ北海道ブロック長(渡辺政則)が、[有]会田車輛の社屋においてエコカー車等の取扱いに関する特別教育を行った。冒頭、渡辺ブロック長から本日の特別教育についての概要説明が行われ開催された。講師には、SAPグループ生産部長兼教育長(手嶋昭良)が座学とパワーポイント並び実物教材・現車を用いて特別教育を行った。北自協として講習会を傍聴させて頂いた。

私が受けた感覚は、法的規制の有無ではなく、入庫した(HV)車の取扱いを間違えると重大な事故等に繋がることを感じた。まず、電圧が300V以上であること。[264ページのオレンジフック]の脱を怠ると大変危険である。

入庫時の初歩的取扱いからバッテリーの脱までの工程に従事する社員が理解していなければならないことを教わった。更に、部品として再販する際の取扱いについても理解していなければ販売後トラブルが発生することも教わった。最終的に特別教育が必要であることが把握出来たので講習会に向け理事会等に掛ける。



(座学風景)



(実技講習)

※ 新車買い替え補助金制度とは

補助金は、最初の登録から13年超の古い車を廃車にし、環境基準を満たした車に買い替えれば最大25万円を支給。廃車を伴わなくとも最大10万円を助成する。政府による新車買い替え補助制度の受け付けが19日に始まる。4月にスタートしたエコカー減税と合わせると、ハイブリッド車(HV)は40万円以上も安く購入できる。景気低迷で新車が売れないため、自動車業界の期待も大きい。条件等について、販売先と登録条件等でトラブルが発生している。

『21年度フロン・エアバッグ適正処理普及講習会に備えて』21.8.7.

E L V機構主催のフロン・エアバッグ適正処理北海道ブロック講習会に備えて補助員の技術講習会が、札幌市白石区(〔株〕協栄車輛)で開催された。平成19年度にE L V機構が自動車再資源化協力機構の委託事業の一環として、インストラクター制度(本誌213ページ)を創設した。なお、20.3.13.(本誌239ページ)にE L V機構「インストラクター全国大会」が東京都内で開催された。当大会では、有資格者51人が顔写真入りの認定証の交付を受けた。

此度の適正処理普及講習会は全国6ブロックに分け、北海道ブロック(伊丹伊平ブロック長)が最終となった。講習会に先駆け当講習会を北海道地区一円に会員外にフロン類回収業者に10月から各支部のインストラクターが中心となって講習会を行って行くため、北自協南可昭理事長が冒頭に挨拶を行い開催された。なお、講習会の目的はフロン類・エアバッグ類の回収破壊等が趣旨であるが、「自り法」による「預託金」の正しい運用がなければ次の工程に取り組めないことから、来賓として、主務省庁から北海道経済産業局・北海道環境事務所、並び講師には自動車促進センター・自動車再資源化協力機構、トヨタ自動車(メーカー)フロン回収機器扱い業者等の出席で行われた。

「自り法」による「預託金」の運用には破砕クズ(シュレッダーダスト)、フロン類回収破壊、エアバッグ類回収破壊等に関する3点が製造者責任として義務付けされている。「預託金」等の運用等については主務省庁が指導を行い、実務的運用を外郭団体(自動車促進センター・自動車再資源化協力機構)等に委嘱して行っている。

此度のフロン・エアバッグ類については、再資源化協力機構委託を受け環境汚染並び破壊物である物品等を全国的に回収するため、インストラクター制度の導入をE L V機構に協力要請を受けた。全国組織である「一般社団法人日本E L Vリサイクル機構」として、加盟会員は基よりフロン類回収業者(登録者)等に担当行政並び外郭団体等の側面から協力するためにインストラクター制度を受けた。

北海道ブロックとして、「自り法」の趣旨に従い道内における該当事業者に回収破壊の情報等を徹底するために貢献する。本年4月から政府は経済効果の一環として「買い替え補助金制度」を導入した。

目的は、経済効果の起爆剤は基より、大気汚染等を防止するためにエコ自動車の普及が目的と思う。正確は把握していないが、一台の未回収の使用済自動車と一台のエコカー普及ではフロンガスの未回収が環境汚染等に与える影響は過大であると思う。フロンガスが与える地球温暖化は過大である。自動車リサイクル業界に過大な責任と使用済自動車の取扱いに関する責務が課される。インストラクターとしての認定を受けた方々は将来的に環境やリサイクル等に重要な役割を踏まえ業界の指導者に成らなければならない。



(フロン・エアバッグ類回収破壊等の座学講習会)

此度、行われた講習会は北海道ブロックにすでに4名が認定を受けているが、全道のリサイクル業者に幅広い情報を行うためには少なく新たに6名を補充した。なお、会田委員を総括することに定め10名で各支部を網羅する。

場合によっては隣接のインストラクターが協力をし事業活動に貢献する。将来的には、資格制度の導入まで発展することも視野に活動して頂きたい。

促進センターの担当官が移動報告等について説明を受けた。「自り法」が施行され5年を経過専任業者において誤記入は減少しているが、本年4月から取り組んだ「買い替え補助金制度」の導入によって、ディーラー等の販売店などで「引取報告」が多く扱うことによって「買い替え補助金制度」に該当する車両等の扱いにトラブルが生じているとの報告を受けた。 フロン類の回収方法について座学の講習を受け、回収工程は一般的に簡単事業であるが精緻なシステムで行わなければ回収機器の破損や回収時間をついやすこととなる、との座学を受け実習を受けた。まず、フロンガスの回収に際しては、「高圧ガス法」に該当することから原則的には資格が必要となるが、全国規模のフロン回収業者に資格等に義務付けすることは時間的に難しいことから「使用済自動車」等からのフロン類の回収については、特例で「フロン回収破壊法適合(通商産業省告示第139号に基づく適合性自己認証製品)」のステッカーが貼られている回収機器については回収が可能である。

なお、フロンの回収に際して、近年、漏洩を防止するために蛍光液等を予め注入していることから回収機器の故障の原因となっている。使用済自動車から直接回収機器につなぐことなく、熱交換機能付オイルセパレータを付けることが望ましい。また、回収ポンペを冷やすことにより回収時間の短縮に繋がる。などの実践講習を受けた。

(タスコジャパン〔株〕の講師を受けるインストラクター各位)



エアバッグ類の回収破壊等について、再資源化協力機構の担当官から座学で講習を受けた。回収作業等については度々講習を行っている。 トヨタ自動車CSR環境部並び豊田メタル〔株〕リサイクル研究所担当官から昨年(264ページ)につづき「HVバッテリー」等の回収事業について座学で講習を受けた。

最後に総括的テストを行い、講習会を終了した。一部の地域からテストの実施についての有無の意見があったが、一般ユーザー等から預かっている「預託金」等の運用について明確にするための目的を踏まえてのこととインストラクターの責任を位置づけることが狙いである。引き続き、エア



バッグ生地のリサイクルについて寺田紡績〔株〕の説明を受けた。引き続き、北自協理事会を開催した。本日の研修会を終えて、各支部の講習会の開催等についての日程。ELV機構の事業報告。9月1日、防災の日に伴う札幌市から協力要請について、佐藤副理事長から説明を受けた。訓練用車両提供は大型バス1台、普通乗用車15台の提供依頼を受けていることから、札幌東支部・札幌西支部が協力することで解決した。

『21年度全国防災の日に北自協札幌支部が参加』21.9.1.

札幌市総合防災訓練に本年も参加した。「全国防災の日」とは1923年9月1日の関東大震災に因んで制定された記念日であり、日付はその9月1日である。9月1日は年にもよるが、二百十日になることが多く、“災害への備えを怠らないように”との戒めを込めて1960年に制定。この頃に台風が来ることも由来の一つ。制定の前年(1959年)には伊勢湾台風が襲来していた。

1923年(大正12年)9月1日、関東地方南部を襲った大地震により、死者・行方不明者10万5千余り、家屋の全壊10万9千、焼失21万2千という未曾有の大災害がもたらされた。被害総額は当時の国家予算の1年4カ月分に達するといわれた。東京・横浜をはじめ都市部では地震後に発生した火災のために被害が著しく大きくなった。近い将来、同様な災害が発生するとの話が聞かれる。

此度の防災訓練には札幌市南区、豊平区、東区を流れる豊平川(とよひらがわ)河川と札幌市中央区の繁華街である薄野の中心部の二箇所で大規模実践的訓練が行われた。北自協の役割は地震等による交通網の緊急回復が主たる目的である。災害救助活動には、上空から警察や自衛隊ヘリによる原状把握から始まる。また、バイク等の現地確認も効果がある。交通機関の回復如何によって負傷者の被害を最小減に防げる。主要道路が陥没などで交通が阻害したことを想定して、豊平川に第11師団特科による仮設橋設置(120m)する。



横転した大型バス等の車内から負傷者を救出するために屋根の部分の水圧ガッターで切断している状況を大型移動映像車で来賓等に随時紹介した。

なお、繁華街の訓練には地下街や地下鉄などによる大災害等「複合災害」を想定して行った。繁華街である訓練には「全日本高速道路レッカー事業協同組合(JHR)佐藤正良理事長」の北海道支部が訓練に参加した。繁華街の訓練状況も合わせて移動映像車で、リアルタイムで送られてきた。参加団体は次ページにある63団体で延べ1800名が協力し防災訓練は終了した。

近年の地震等による災害を踏まえて年々訓練の規模が拡大されている。北自協は訓練車両大型バス一台乗車15台を提供する。



JAF、JHR、北海道自動車処理協組

M7.3直下型
地震想定

札幌市総合防災訓練に参加

防災の日の1日、「札幌市 北海道自動車処理協組合同も 総合防災訓練」が63団体1800人の参加で開催された。訓練は警察や消防の訓練施設、河川敷、駐車場などで行ったが、都市型災害に

ススキノ地区一時道路封鎖

緊急車両通行確保へ事故車を移動・排除

市民が見守る中、実践的な訓練を行った。写真、警察、消防、自衛隊を始め、日本自動車連盟(JAF)、全日本高速道路レック事業協同組合(JHR)、

められた乗員を救助した。高層ビルからはハシゴ車と屈折車を使って負傷者を救出。消防と自衛隊が連携して応急救助と救急搬送を行った。

災害対策で不可欠なのが道路の確保。地震被災で乗り捨てられたクルマや事故車が路上に放置されると緊急車両は通行できない。こうしたクルマはJAFやJHRが移動し、道路確保に協力する。ススキノ会場ではJHRがレッカー台と搬送車1台で手際よく事故車を撤去。また、被災車両として訓練で使ったクルマはすべて北海道自動車処理協同組合が提供した。

札幌市総合防災訓練

平成21年9月1日（火）午前9：30～11：30

主催：札幌市 担当：中央区／中央消防署



【参加・協力団体】

本府地区町内会連合会
中央地区町内会連合会
東北連合町内会
苗穂連合町内会
東地区連合町内会
豊水地区連合町内会
西創成親和会
曙地区連合町内会
山鼻町内会連合会
幌西地区連合町内会
西連合町内会
南円山連合町内会
円山町内会連合会
大通地区町内会連合会
桑園地区連合町内会
宮の森大倉山連合町内会
北海開発局石狩川開発建設部
北海開発局札幌河川事務所
陸上自衛隊第11旅団司令部
札幌管区气象台
第一管区海上保安本部
北海道警察本部
北海道札幌方面中央警察署
北海道札幌方面南警察署
江別市消防本部
千歳市消防本部
恵庭市消防本部
北広島市消防本部
石狩北部地区消防事務組合消防本部
東日本電信電話株式会社北海道支店
株式会社NTTドコモ北海道支社
北海道電力株式会社
北海道ガス株式会社

郵便事業株式会社山鼻支店
日本赤十字社札幌市地区本部
社団法人札幌市医師会
社団法人札幌薬剤師会
手稲溪仁会病院
イオン北海道株式会社
イオン札幌桑園店
イオンディライト株式会社北海道支社
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
三菱電機特機システム株式会社北海道営業所
札幌市中央区災害防止協力会
北海道警備業協会
財団法人札幌市防災協会
札幌薄野ビルディング協会
ホテルライフォート札幌
社団法人日本自動車連盟札幌支部
学校法人吉田学園医療歯科専門学校
全日本高速道路レッカー事業協同組合
社団法人札幌地区トラック協会
財団法人移動無線センター
北海道振興株式会社
北海道自動車処理協同組合
札幌市管工事業協同組合
札幌市設計同友会
札幌中央区防火委員会
札幌中央区防火管理者協議会
札幌中央区危険物安全協議会
NPO法人札幌市障害者小規模共同作業所連絡協議会
社団法人札幌市市友会
財団法人札幌国際プラザ
中央消防団
資生館小学校
中島中学校

『急速に開発されるエコカーの取り組み』21.9.6.

日本自動車販売協会連合会などが4日発表した8月の新車販売台数ランキングは、トヨタ自動車のハイブリット車「プリウス」が2万1669台で、3カ月連続の一位を守った。軽自動車の販売も持ち直し、上位10位に入った軽自動車は5車種で、7月の3車種から増えた。

北海道自動車短期大学・交通科学総合研究所 最新エコカー講演会

エコカー減税、自動車保険、車を手放したいが自動車はいつでも使用できるよい方法はあるのか？ 自動車に関する様々な疑問に答えます。どなたでも自由に参加ができます

プログラム

エコカーの展示 12:00～13:00
 一部 基調講演 13:00～14:00
 トヨタ自動車株式会社第2技術開発本部
 IVユニット統括本部 主任 高岡俊文氏
 2部 パネルディスカッション 14:00～15:30
 『最新のエコカーにスッパリ答えます！』
 トヨタ自動車㈱
 三井住友海上損害保険
 札幌地方自動車整備振興会
 札幌トヨタ自動車株式会社
 札幌日産自動車株式会社
 株式会社ホンダカーズ南札幌
 北海道三菱自動車販売株式会社
 ウィンドカー札幌

3部 エコカー試乗会 15:40～16:30
 『最新のエコカーに乗ってみよう！』
 トヨタ プリウス・レクサスハイブリッド など
 ホンダ インサイト など
 日産 エクストレール(クリーンディーゼル) など
 三菱 アイミーブ(電気自動車) など

日時 平成21年9月6日(日)13:00～16:30
場所 北海道自動車短期大学視聴覚教室
 札幌市豊平区中の島2条6丁目2番1号
 TEL:011-821-0175 FAX:011-821-7300

主催 北海道自動車短期大学交通科学総合研究所
後援 自動車技術会北海道支部 札幌市消費者センター
 北海道自動車学校

車のことなら何でも
お答えします

最新エコカーの疑問に
ついてお答えします



北海道自動車短期大学ソーラーカー研究会「スリスVI」
全日本学生ソーラーカーチャンピオンシップ2006・2007年
フルサイズカテゴリー・ストッククラス連続優勝！



エクストレール
Clean Diesel



レッドソリッド/ホワイトソリッド
<RN>

最寄駅は「地下鉄中の島駅」、駐車場もあります。



HYBRID
INSIGHT



MIEV
PRIUS

いろいろな最新エコカーの試乗してみよう！

なお、上記の参加会社は現在交渉中の所もあり、
予告なく変更される場合がありますのでご了承ください

『平成21年度北海道警察災害警備訓練』21.9.8.

9月8日、札幌市南区真駒内、北海道警察学校敷地内及びその周辺で、災害警備訓練が行われた。午後1時31分、札幌市中心部を震源とするマグニチュード7の地震が発生し、札幌市内で震度6強の強い揺れが観測されたほか、小樽では釣人の海中転落事故が発生したとの想定で訓練が行われた。

訓練開始の合図により、訓練統裁官(警察本部長)並びに北海道副知事が道警のヘリコプターにより訓練会場に緊急輸送により集合した。機動隊長から訓練統裁官に訓練開始の報告を行い開催された。北海道は全国的に大規模の地震や災害が少ないが本日午前1時24分ごろ、日高地方などで地震があり、日高管内浦河町で震度4を観測した。本部通信室と訓練現場を移動用の大型ビジョンで、リアルタイムで小樽会場並びに南区会場を来賓等に随時説明を行った。なお、高速性・高視界性・高機動性を生かし、数多くの災害警備、山岳遭難、その他犯人の検挙や悪質交通違反の取締りなど、幅広い警察活動に成果を上げている警察ヘリコプター(ぎんれい2号)が上空から災害状況を報告してくる。

なお、当日訓練には、道警をはじめ札幌市消防局など計5機関の約230人が参加。北自協としても訓練車の提供とレッカー車2台が訓練に参加した。更に、訓練用車輦(大型バス並びに普通車)等については、北自協副理事長並びに全日本高速道路レッカー事業協同組合理事長である「〔株〕協栄車輦佐藤正良」が、提供し訓練に貢献している。年々、災害訓練の密度が高まり参加機関や住民等に災害時の救出などのガイドラインが鮮明になっている。なお、9月1日から10日まで国内で49件の小地震が発生している。

平成21年 北海道警察災害警備訓練



岩手・宮城内陸沖地震における北海道警察広域緊急援助隊の活動

日時：平成21年9月8日(火) 13:30～15:30

会場：主会場 札幌市南区真駒内南町5丁目
北海道警察学校敷地及びその周辺

副会場 ① 南区会場(札幌市南区真駒内南町1丁目)
道職員住宅 4号棟・5号棟

② 小樽会場(小樽市色内3丁目)
小樽港 色内埠頭

● 北海道警察 ●



(大型移動ビジョン)



(車内から負傷者を救出する訓練)

『災害訓練の恒常化とレッカー車の装備の拡大』

私が自動車関係業界に転職したのは、昭和46年ころです。独立が48年で一台の中古4トン車を改造してレッカー車を作りました。当時を思い浮かべるとレッカー車の作業性能は大きな飛躍されました。故障車や事故車をけん引する際、機械的装置がないため吊り上げる部分に傷や破損などのトラブルが発生し大変困りました。その後、機械的改造が為され抵抗なくけん引作業ができるようになりました。

当時は車内に閉じ込められた搭乗者の救出には困難を極めました。まず、負傷者等を救出するには手順があります。救出することは、自力で脱出が出来ない状況下にあることです。通常であれば自力でドアを開けて脱出するのですが、事故等で車内に閉じ込められた場合には脱出は不可能な状況です。外部からの援助が必要となります。救出までには多くの時間が必要とする場合、自動車はバッテリーでエンジンを作動して、動かすのは燃料(ガソリン並び軽油・プロパンガス)などです。特に、前面部等が破損している場合バッテリーが破損、火災等の原因となり救出中に車輛等が火災に巻き込まれことがあります。救出作業と平行にバッテリーをつり除くことが鉄則です。互いに各自の自動車にガラスなどを割る工具を搭載して置くことが必要です。ドアガラスを割る場合には、ガラスのはじの部分を押いて割ること。真ん中の部分を押いても簡単には割れません。また、シートベルトが外れないことが有ります。その際にはカッター並びハサミなどを予め装備していることを進めます。



(横転している大型バス内から救出者を救助後、道路の回復を行うレッカー作業)

『災害時における緊急出動連絡網』

当組合は、平成18年11月7日、北海道警察本部(163P)と災害時に事故車両並び道路の障害を阻害している瓦礫などの除去を行うために「災害時における支援協定」を締結した。

なお、災害時において出動する際の手順は、道警本部との協定により、出動要請を北自協災害対策本部に一報を受け、北自協総括本部長から本部長並び副本部長に伝達する。両副本部長は地域担当の常務理事に該当支部長に出動命令を行う。

当組合から出動する機械類は、ユンボ・ユニック付大型車(11トン)並びユニック付中型車(4トン)要請よっては、ショベルカーなど。

主たる作業は道路上に置かれている、障害物(自動車並び枯れ木)等の除去。パイプラインの確保によって、緊急車輛等の通行を円滑にすることに努める。

北海道災害救助緊急連絡網



『第4回不法投棄対策工学講座シンポジウム』21.9.11.

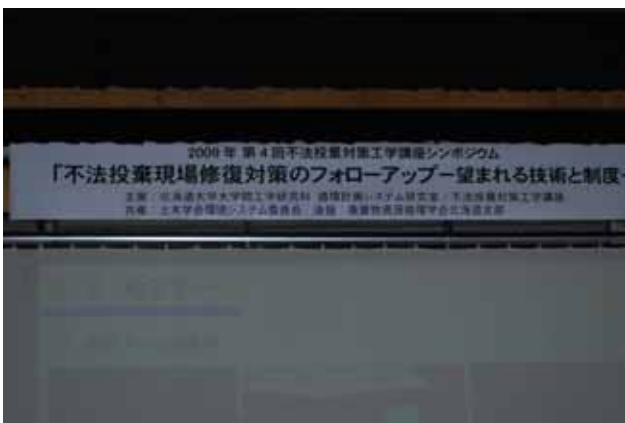
去る、9月11日北海道大学クラーク会館講堂において第4回不法投棄対策工学講座シンポジウムが開催された。当、シンポジウムは学識経験者など関係官庁並びに大手企業が参加して全国的に発生している廃棄物の処理並びに不法投棄の絶滅を目的に平成18年10月に開設した。

第1回から第4回に至るシンポジウムをこの度閉め10月に報告書が作成される。4回のシンポジウムを纏めることを踏まえ、「不法投棄現場修復対策のフォローアップー望まれる技術と制度」についてのシンポジウムが開催された。

プログラム

1. 挨拶(13:30~13:35).....不法投棄対策工学講座 客員教授 西 則雄
- 第1部 3年間の活動の総括
2. 不法投棄対策工学講座の活動総括(13:35~14:05)
.....不法投棄対策工学講座 助 教 金 相烈
- 質疑応答(14:05~14:15)
3. 活動成果の評価と成果活用の期待(14:15~15:15)
.....各寄附会社の代表者
4. フォローアップの必要性(問題提起)(15:15~15:35)
.....循環計画システム研究室 助 教 石井 一英
- 休憩 (15:35~15:50)
- 第2部 今後の展開 不法投棄現場修復対策のフォローアップ
5. パネルディスカッション(15:50~16:55)
コーディネーター：古市 徹 (北大、循環計画システム研究室 教授)
パネルリスト
和田卓也(〔株〕建設技術研究所)、峠和男(〔株〕大林組)、西田憲一(三重県)、
鎌田啓一(前青森県)、石井一英(北海道大学)、計5名
6. 挨拶(16:55~17:00).....循環計画システム研究室 教授 古市 徹

個人的な意見として、廃棄物問題は日本経済の産物と思う。日本経済は「大量生産」「大量破壊」「大量消費」により発展してきた。そのつけを補うのが循環型社会基本法ではないか。過去の廃棄物は現代の時代にリサイクルすることが必要である。問題は今後、廃棄物等の不法投棄の監視体制の強化並びに廃棄物の定義についての一般認識を求めたいと思います。



(フォーラム会場)



(パネルディスカッション)

『株式会社マテック釧路支店、西港工場落成祝賀会』21.9.12.

9月12日、〔株〕マテック釧路支店リサイクル施設の完成祝賀会に出席した。



事務所



プレシュレッダー



シュレッダー



非鉄選別ライン



ギロチンシャー



大型倉庫



自家用スタンド



西港船積みバース



古紙ペーリングシステム (大漆毛事業所)

主要設備

- 西港工場
 - ・1,000tギロチンシャー
 - ・400HPプレシュレッダー
 - ・1,250HPシュレッダー
 - ・非鉄選別ライン
 - ・自家用スタンド
 - ・トラックスケール (60t)
- 大漆毛事業所
 - ・古紙ペーリングシステム
 - ・非鉄プレス機
 - ・発泡スチロール減容器
 - ・トラックスケール (50t)

保有重機

- ・LEIBHERRバックホー
- ・ラバウンティシャー
- ・タイヤショベル
- ・ショベルローダー
- ・フォークリフト

保有車両

- ・ヒアブ
- ・トラック
- ・パッカー
- ・搬送車

株式会社マテック 釧路支店西港工場

当釧路支店は、これまで帯広や道央圏の素材等を帯広支店に持ち込んで、使用済自動車並び廃棄物付着金属くずなどが釧路で一貫リサイクル可能となり、さらに隣接(300m)する船積み場から製品を国内外に出荷でき、輸送コストとCO2排出の削減にもつなげる。釧路市西港4丁目の敷地3万3077平方mに工場を建設。3月から本格的操業を開始した。工場設備はギロチンプラント、シュレッダー、非鉄金属選別ラインなどを建設した。人員は松原誠二支店長以下24人。落成披露宴には全国から300人ほどが出席した。

『北自協札幌西支部が21年度の支部会議を開催』21.9.13.

去る、9月13日北自協札幌西支部長(株)鶴岡車輛鶴岡敏雄社長が21年度初の支部会議を余市町旅荘あゆ見荘で開催した。西支部は13社であるが当日は6社が出席した。少し残念だが今年度の支部活動について鶴岡支部長が提案された。冒頭、南理事長から現状報告を兼ねて組合活動のお礼を申し上げた。今年度の北自協の事業活動について 共同出荷、購入等について E L V 機構関係について

H V 車(ハイブリット)、E V 車(電気自動車)等の取り扱いに関する勉強会。例えば、低圧電気取扱、特別教育講習会の開催などが上げられた。その他の討議事項として、10月9日に開催される、フロ



ン・エアバッグ類の講習会について意見が出された。当講習会についての必要性等について明確した位置づけ。強制的に出席が必要であるのか。参加が必要であればインパクトのある出席文章が必要ではないか。受けても受けなくともよいのではないか。曖昧な文書に受け止めているので参加者が少ないのではないか。災害訓練等について質問が出された。組合員からの訓練車両等について協力は惜しまないが、組合員も実践的に参加できる環境も必要ではないか。

北海道庁並びに札幌市と緊急時に協力体制を構築するために協定が必要ではないか。などの意見が上がった。本年4月から開始された「買い替え補助制度(スクラップ・インセンティブ)」の導入によって、販売店との取引がない事業所は従来の低年式の入庫が減少しているとの声が聞かれた。来年、3月末には終了することになっているが、新政権において引き続き施行された場合の影響は避けられない。なお、エコカーの普及に伴う対策が必要となってくる。北自協として、「低圧電気取扱業務講習会」が必要ではないか。などの忌憚のない意見交換会が行われ次回は札幌市内で行うので余市方面の皆様方の出席をお願いすることを鶴岡支部長が閉めた。

エアバッグの安全のしくみ

エアバッグの「SRS」とは一体どんな意味?

今の時代、新車を買えばほぼ100%エアバッグが標準装備されている。このエアバッグを風船のような柔らかいもので、万能な安全装置だと考えていたらそれは大きな誤解だ。

エアバッグは、ナイロン素材でできていて、センサーが衝突を感知すると、ガスに点火して膨張させ、急激にバッグを膨らませるしくみになっている。膨らんだままだと衝撃を吸収できないので、バッグは衝突からわずか0.3秒でしぼむ。

■エアバッグはシートベルトの補助装置

エアバッグが収納されているステアリングホイールを見ると「SRS」と書いてあるが、これは、Supplemental Restraint Systemの略で、乗員を保護する「補助拘束装置」という意味だ。

つまりエアバッグはあくまでも補助装置にすぎず、シートベルトをきちんと締めている状態なら安全だが、シートベルトをしていなかった場合や、センサーが感知できない角度で衝突すると、大ケガをする危険もあるわけだ。

「エコカー」って何?

エコに向かって流れている自動車業界

限りある地球の資源を大切にしていこうというのが「エコ」の精神だが、石油を浪費し、CO₂(二酸化炭素)やNO_x(窒素酸化物)を排出する自動車は、エコと正反対の存在だ。2006年度のある調査によれば、私たちが排出するCO₂のうち全体の4分の1が自動車の排気ガスとも言われている。

そこで、環境にやさしく、クリーンな自動車を作るために、石油燃料以外の資源で車を動かす技術が開発されるようになった。このように、脱石油燃料を目指したのがエコカーで、エンジンとモーターを搭載した「ハイブリッドカー」、家庭用電源で充電できる「プラグインハイブリッドカー」モーターで動く「電気自動車」、自家発電しながらモーターで走る「燃料電池車」などがある。